県政トピックス

■産業開発青年隊訓練所新築移転

産業開発青年隊訓練所は、この程菊池郡大津町から下益城郡城南町に新築移転し、6月9日落成式が行われた。同所は、郷土建設の一線に立ち、実践に即応できる中堅技術者の育成を目的に、昭和38年隊員キャンプを設置。以来851人の卒業生を送り出している。

■米国モンタナ州友好使節団来熊

米国モンタナ州テッド・シュインデン知事をはじめとする同州上・下院議員の代表ら友好使節団一行が、5月9日県庁に細川知事、小材議長を表敬訪問した。また同知事は、県議会本会議場で「双方の友好を更に促進するため努力を重ねます」とあいさつし、盛大な拍手を受けた。

■故川本画伯の代表作、県に寄贈

玉名市出身で日本画の大家、故川本末雄画伯の代表作6点が、6月17日県に寄贈された。作品は、昭和37年から52年までに描かれた「月明」・「沼」・「宵」「朝」・「流れ」・「凍沼晨」のいずれも100号以上の大作ばかり。作品のうち「沼」を県庁内に展示、残りは県立美術館に収蔵される。

■県下一斉クリーン大作戦

環境週間初日の6月5日、県下全域で県民総参加による清掃活動が繰り広げられ、拠点地区の一つ江津湖でも約4,000人が参加。かけがえのない自然を呼び戻そうと、それぞれの受け持ち区に分かれて、湖面や水際のごみ、空き缶拾いにさわやかな汗を流した。

■県行政改革審議会が初会合

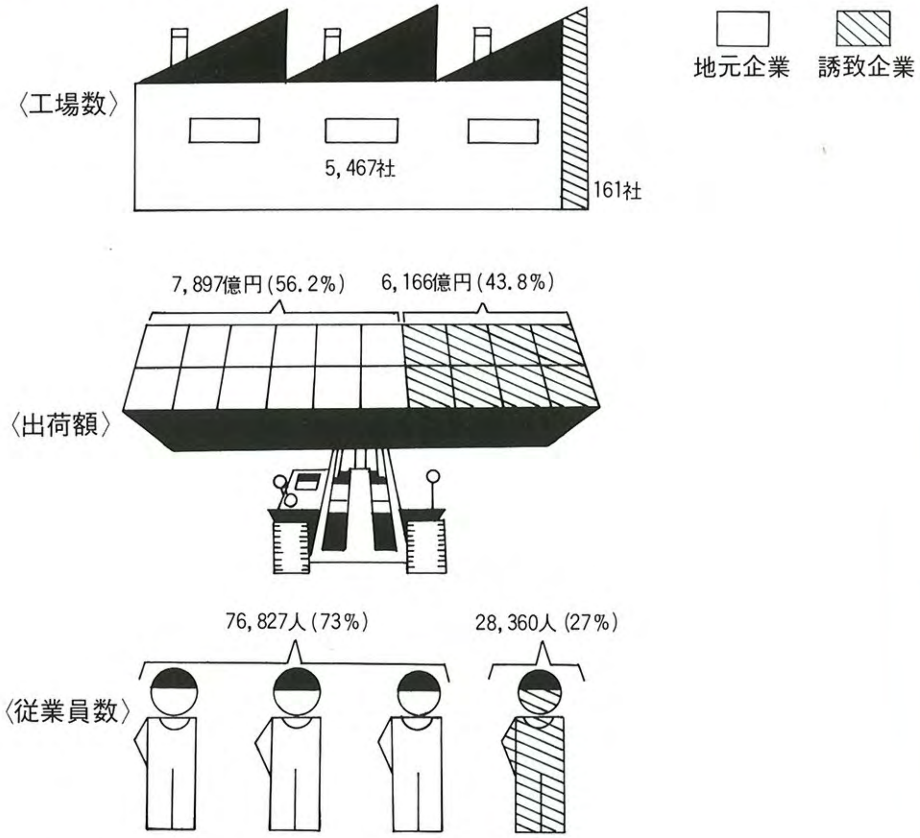
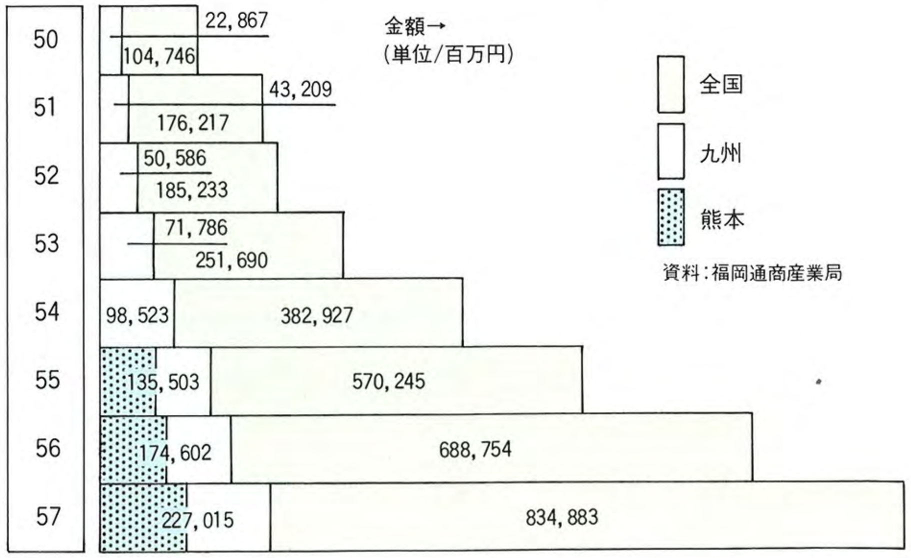
県行政改革審議会の初会合が6月16日に開かれ、会長に早志忠之熊本経済同友会常任幹事（九州日本電気会長）を選び、県の行財政改革に今後精力的に取り組むことが確認された。

■県営清願寺ダム竣工

球磨郡上村の免田川上流に建設が進められていた県営清願寺ダムがこの程完成し、6月7日竣工式が行われた。このダムは、免田川流域の洪水調整と上村南部のかんがいを目的にしたもので、堤高60.5m、長さ19.9m、総貯水量332,000トンの中央コア型フィルダム。

目で見る県政 工業

●県工業における誘致企業の比重



●ＩＣ生産額の推移